

2020年度後期 講義概要

授業科目名	在宅看護学概論
主担当教員名	伊藤 美樹子
配当学年 等	2
学習目標	1.在宅看護の歴史的背景を理解する。 2.在宅看護の特性と役割を理解する。 3.療養生活を支援する看護職の連携や協働について理解する。 4.療養生活を支援する保健・医療・福祉のネットワークシステムと諸制度を理解する。
授業概要	高齢化の進展や家族機能の変化といった社会背景から、病気や障がいのある人を住み慣れた地域で支え、その人らしく生活できるように支援する看護活動への期待は大きい。本科目では、地域での看護活動の理解を促し、暮らしを支える看護への興味関心の涵養をめざす。特に訪問看護活動の特性と役割、保健・医療・福祉のネットワークシステムと諸制度の理解を基盤にしながら、療養者とその家族を支える看護の基礎的知識を習得する。

授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題 有・無	授業形式 (原則、対面。)
令和 2年10月08日(木)	3 時限	伊藤	在宅看護の概要	在宅看護の背景、目的と特徴	無	対面
令和 2年10月15日(木)	3 時限	伊藤	在宅看護の対象者	療養者の特性/家族の特性	有	対面
令和 2年10月22日(木)	3 時限	輿水	在宅看護の制度	訪問看護の歴史	無	対面
令和 2年10月29日(木)	3 時限	輿水	在宅看護の制度	訪問看護制度	有	対面
令和 2年11月05日(木)	3 時限	清水	在宅看護の制度	医療保険/介護保険	無	対面
令和 2年11月12日(木)	3 時限	清水	在宅看護の制度	在宅ケアシステム/多(他)職種との連携	有	対面
令和 2年11月19日(木)	3 時限	清水	在宅看護の制度	入退院時における医療機関との連携/継続看護	無	対面
令和 2年11月26日(木)	3 時限	清水	在宅看護の実践	(特別講義)訪問看護ステーションの実際	有	対面
授業形式・ 視聴覚機器の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義形式とする。一部、グループワークを行う。 ・ 上記授業の順序などは、一部変更する場合がある。 ・ 授業資料はWebclassに提示する。 					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価は授業内の課題、授業時の発言・意見等、期末試験により総合的に判断する。詳細は講義の際に説明する。 ・ 全講義の2/3以上（2回の遅刻および早退は1回の欠席とみなす）の出席をもって評価の対象とする。 					
教科書・ 参考文献	授業において、適宜、提示する。					
学生への メッセージ	今日の社会背景に関心を向け、このような健康を支えるシステムが構築され、必要とされる意味についても考察してください。					